

アガルートアカデミー 行政書士実務講座
終活支援実務

制作 優オフィスグループ 行政書士 東 優

1 終活支援実務の基本知識

<行政書士が関わる終活実務メニュー>

- ① 遺言作成支援
- ② 遺言執行支援
- ③ 死後事務委任契約手続支援
- ④ 死後事務手続受任
- ⑤ 尊厳死宣言手続支援
- ⑥ 委任・任意後見契約手続支援
- ⑦ 任意後見受任者・任意後見人受任
- ⑧ 法定成年後見人・保佐人・補助人受任
- ⑨ 民事信託契約手続支援
- ⑩ 終活コンサルティング

<連携が必要な専門家と業者>

- ① 後見実務→ 医師、看護師、ケアマネジャー、施設管理者、地域包括支援センター職員、市区町村福祉課職員、身元保証支援業者 など
- ② 死後事務→ 葬儀社、僧侶、霊園事業者、遺品整理・家財処分業者 など
- ③ 遺言実務→ 他士業、宅建業者、古美術商 など

終活とは

人が年を重ねて否応なく立ちはだかる「老い」「病」「死」に対して、自分なりの考えをまとめ然るべき対策を講じて、「キーパーソン」に伝え、いざというときに自分の考えや対策を実現させるための諸々の活動のことを指す。「終活」を通して、自分自身の課題を発見し、その課題に対して自分なりの考えをまとめて、然るべき対策を講じていくことが、少子高齢社会、無縁社会と言われる今日において必要不可欠となっている。

終活のイメージは、別紙のように表すことができるが、行政書士の立場からは、各課題を解決する為の文書作成等について専門家として支援を行うことになる。さらに、キーパーソンに準じる立場となって本人の実務を支援するような活動を行っていくことも可能である。

キーパーソンとは

「キーパーソン」は、終活の各課題について、本人が施した対策や考えを、然るべき専門家・業者に伝える役割を担う、本人の最も信頼できる者のことである。

キーパーソンは、わかりやすい例でいえば、病院に入院する際に求められる「身元引受人」の立場となり得る者のことである。身元引受人は、病院や施設で何かあったときに、身柄を引き取ったり、医療に同意する責任ある立場を担うことになる。キーパーソンの候補者としては、別紙の表のとおりであるが、終活の相談に対応するにあたり、行政書士としては、本人にとってのキーパーソンが誰かという点を意識したうえで、課題解決のための具体的な提案を行うことが必要である。